

# 「特別の教科 道徳」の教科書に見る人権教育関連題材の研究

梅野 正 信\*・蜂須賀 洋 一\*\*

(令和元年9月9日受付；令和元年11月28日受理)

## 要 旨

本研究は、人権教育に関する基本的な文書から人権教育の指標を導き出し、その指標を用いて「特別の教科 道徳」の中学校用検定教科書を分析し、各指標の趣旨との対応関係に限定した形ではあるが、少なくない題目について、人権教育との関連性を確認することができた。あわせて、道徳教育の趣旨や目的を損なうことなく、人権教育と関連した教材として活用可能な題材について、内容面から検討と考察を加え、「道徳科」における道徳教育と人権教育が、相互に連携することの可能な題材、趣旨、活用方法に関する理論的実践的研究の必要性を指摘した。

## KEY WORDS

人権教育 特別の教科道徳 中学校用検定教科書

## 1 はじめに

本研究は、学校教育における人権教育の公的指針と位置付けられる基礎的文書から人権教育の指標を抽出し、2015年改訂学習指導要領で新たに設置された「特別の教科 道徳」の中学校用検定教科書（以下「道徳科」教科書）を内容面から分析を加え、道徳教育の目的や趣旨を損なうことなく、人権教育と関連性をもって活用可能な題材の有無を考察するものである。

人権教育は、学校教育と社会教育を包括する国（文部科学省）の政策及び施策として「（学校教育では）各教科、道徳、特別活動及び総合的な学習の時間、教科外活動等、教育活動全体を通じて推進する」（「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕（指導の在り方編）」（文部科学省、人権教育の指導方法等に関する調査研究会議、2008 以下「第三次とりまとめ」<sup>1</sup>）と位置付けられてきた。

道徳教育は、2008年改訂学習指導要領により、「道徳の時間を要として学校の教育活動全体を通じて行うもの」（第1章総則）とされ、各教科に関わる記述中、「指導計画の作成と内容の取扱い」で、「道徳の時間などとの関連を考慮」し、各教科の「特質に応じて適切な指導をすること」と指示されている。この指示は、2017年改訂による「道徳科」の設置後も、基本的に踏襲されている。また、人権教育は、国連における人権教育推進のための諸決議や、国内における人権教育に関わる蓄積と経緯<sup>2</sup>をふまえて、文部科学省の政策と施策が進められてきたこと、道徳教育が、文部科学省（教育課程）において学習指導要領で目的・内容・方法が改訂されてきたこと等、相互に違いはみられるが、いずれも、2008年以降、学校教育において、児童生徒を対象に、「教育活動全体」で行う教育領域とされている。児童生徒にとっては、「学校」で、1日の学習活動の中で行われる点では同一であること、加えて、人、市民あるいは日本国民としての尊厳や価値（後述）を学習内容とする点でも、両者は共通している。

「道徳の時間」「特別の教科 道徳」については、道徳の時間の設定時（1953年改訂学習指導要領）をめぐる批判<sup>3</sup>、「特別の教科 道徳」の新設に際しての、人権や人権教育の視点からの批判的・否定的論考<sup>4</sup>や指摘<sup>5</sup>がなされてきたが、本研究は、これらの批判的見解に一定の理解を示しつつ、「道徳科」の中学校検定教科書において、人権教育の趣旨や目的を損なうことなく、互いに整合性をもって活用することの可能な題材の有無、活用の可能性や課題を考察する。ここでは、前述の共通点に加えて、以下の理由をあげておきたい。

人権教育の基礎的文書とされる「第三次とりまとめ」には、道徳教育との関係について言及し、人権教育は、「『生きる力』を育む教育活動の基盤として人権教育、各教科、道徳、特別活動及び総合的な学習の時間や、教科外活動等のそれぞれの特質を踏まえつつ、教育活動全体を通じてこれを推進することが大切である<sup>6</sup>」と指摘されており、「協力的学習、体験的学習、参加型学習」（以下「参加体験型学習」）の推進を指摘する箇所でも、「道徳、特別活動、総合的な学習の時間等あらゆる機会をとらえ、できるだけ直接的な体験を活かす」よう指摘している。また、「第三次

\*上越教育大学 \*\*学校教育学系

とりまとめ」(実践編)では、「道徳の時間」について「「生命尊重」「公正・公平」等人間尊重の精神とかかわりの深い内容を設定」し、あるいは、「心の問題として人権感覚を育てていくためには、人間としての在り方や生き方という視点から道徳の時間を工夫し、体験的な活動と連携を図ることが効果的である」ことや、体験的な活動を重視する観点から、道徳の時間の「内容項目は、人権教育の学習内容と密接に繋がるものが多数含」まれており、「道徳の時間本来の計画的・継続的な指導」を通して、「発展的な課題として人権課題への動機付けや価値への自覚の深まりを図」る旨の指摘もみられる。

日本の人権教育において、国と基礎的な文書である「第三次とりまとめ」が指摘するところからも、学校教育全体を通して取り組まれ、同一の空間、同一の児童生徒を対象に取り組まれる、人権教育と道徳教育の、それぞれの趣旨や目的を損なわない形での連携の可能性について、理論的・実践的に探究することの意味は、少なくないように思われる<sup>8</sup>。

## 2 日本における人権教育の指標

「道徳科」の中学校検定教科書から、人権教育の趣旨を損なわずに、人権教育との整合性を有する内容、題材や素材を整理、検討するために、人権教育関係の基本資料から、人権教育の条件を、指標の形で抽出し、整理しておきたい。

日本の教育行政が、人権教育(Human Rights Education)の定義や内容を公的に示した文書として、「第三次とりまとめ」をあげることができる。また、文部科学省自身、「第三次とりまとめ」を人権教育の基礎資料<sup>9</sup>と位置付けていることから、本稿では、「第三次とりまとめ」を用いることとしたい。

また、「第三次とりまとめ」の策定は、人権教育及び人権啓発の推進に関する法律(2000 以下「推進法」)の制定と、「推進法」に基づく閣議決定文書「人権教育・啓発に関する基本計画」(2002 以下「基本計画」)が根拠となっており、さらにその背景には、日本政府が共同提案となった、「人権教育のための国連10年」(1995~2004)、「人権教育のための世界計画」(2005~)をあげることができる。さらにいえば、福田弘(2004)<sup>10</sup>が指摘するように、「学校における人権についての教育と学校についての提言」(ヨーロッパ評議会1985)、「平和・人権・民主主義のための教育に関する宣言」(ユネスコ第44回国際会議1994)など、「人権教育のための国連10年」の日本の人権教育施策に影響を与えた国際的文書の存在は無視できないが、本稿では、日本の学習指導要領に位置付けられた「道徳科」教科書の検討に用いる人権教育関係文書としては、国内で公的に基本的な文書とされる「第三次とりまとめ」と、これに直接の影響を与えた「基本計画」、「人権教育のための国連10年」(1995~2004)関係文書を、用いることとしたい。

以下、「道徳科」の検定教科書の内容中、人権教育との関係性の有無とその根拠を考察するため、「第三次とりまとめ」とこれに関連する国内外の文書から、本稿における内容的分析と考察に用いることに限定して、人権教育の特徴を整理した暫定的な指標をとりだすことにする。

### 2.1 目的及び目標

「第三次とりまとめ」は、人権教育について、「推進法」から「人権尊重の精神の涵養を目的とする教育活動」(第2条)を引いて説明し、あわせて、「人権教育のための世界計画」<sup>11</sup>行動計画(国連)より、「知識の共有、技術の伝達、及び態度の形成を通じ、人権という普遍的文化を構築するために行う」ものとし、その要素として「(a)知識及び技術-人権及び人権保護の仕組みを学び、日常生活で用いる技術を身に付けること」「(b)価値、姿勢及び行動-価値を発展させ、人権擁護、の姿勢及び行動を強化すること」「(c)行動-人権を保護し促進する行動をとることが含まれる」ものと説明している<sup>12</sup>。後段で「人権教育のための世界計画」から引用した人権教育の目的を達成するために、第一に、「人権や人権擁護に関する基本的な知識を確実に学び、その内容と意義についての知的理解を徹底し、深化すること」、「人権が持つ価値や重要性を直感的に感受し、それを共感的に受けとめるような感性や感覚、すなわち人権感覚を育成すること」が併せて必要としている。人権教育は「知的理解と人権感覚を基盤として、自分と他者との人権擁護を実践しようとする意識、意欲や態度を向上させること、そしてその意欲や態度を実際の行為に結びつける実践力や行動力を育成する」教育と説明している。

以上、日本の人権教育は、「人権尊重の精神の涵養に資する知的理解」と「人権尊重の精神の涵養に資する人権感覚」を促進する学習を通して、「人権擁護を実践しようとする意識、意欲や態度、実践力や行動力を育成する」教育とされている。

## 2.2 内容項目

「第三次とりまとめ」は、人権教育の目的に沿う、「人権や人権擁護に関する基本的な知識」を学び、深化する学習、「人権が持つ価値や重要性を直感的に感受し、それを共感的に受けとめるような感性や感覚」、すなわち「人権感覚」<sup>13</sup>を育成する学習の必要性を指摘し、知識的側面、価値的・態度的側面、技能的側面に分けて、具体的な学習内容の例を示している<sup>14</sup>。

知識的側面については、「自他の人権を尊重したり人権問題を解決したりする上で具体的に役立つ知識」であることを前提として、「自由、責任、正義、個人の尊厳、権利、義務などの諸概念についての知識」「(人権や人権侵害の)歴史や現状についての知識」「国内法や国際法等々に関する知識」「自他の人権を擁護し人権侵害を予防したり解決したりするために必要な実践的知識」が例示されている。また、価値的・態度的側面については、「人間の尊厳の尊重」「自他の人権の尊重」「多様性に対する肯定的評価」「責任感、正義や自由の実現のために活動しようとする意欲」など例示されている。さらに、技能的側面については、「人権に関わる事柄を認知的に捉えるだけではなく、その内容を直感的に感受し、共感的に受けとめ、それを内面化する」ための技能として、「コミュニケーション技能」「合理的・分析的に思考する技能」「偏見や差別を見きわめる技能」「相違を認めて受容できるための諸技能」「協力的・建設的に問題解決に取り組む技能、責任を負う技能」などが例示されている<sup>15</sup>。

以上、人権教育の内容項目である知識、価値的・態度、技能等は、いずれも、人権教育の目的である「人権尊重」や「人権擁護」の語と不可分のものと意図された、学習内容ということができよう。

## 2.3 個別的な人権課題

個別的な人権課題、すなわち、人権教育に係る具体的な事例としては、「第三次とりまとめ」(実践編～個別的な人権課題に対する取組～)(以下「個別課題編」)において、「基本計画」に記載された課題、「人権教育・啓発白書」(法務省・文部科学省 以下「白書」)に掲げられた課題をもとに説明されている。このうち、「基本計画」は2011年に追加決定された項目があり、「白書」は毎年内容が更新されてきている。以上をふまえて整理すると、セクシュアル・ハラスメント、DV、デートDV、ストーカー行為、リベンジポルノ、マタニティ・ハラスメント、性的ないしは暴力行為の対象とした表現、性別による固定的な役割分担意識等<sup>16</sup>の課題を指す人権課題としての①女性暴力、いじめ、不登校、児童虐待、児童買春・児童ポルノ等の課題を指す②子どもをめぐる人権課題をはじめ、③高齢者 ④障害者 ⑤同和問題(部落差別)⑥アイヌの人々 ⑦外国人 ⑧H I V感染者・ハンセン病患者等 ⑨刑を終えて出所した人 ⑩犯罪被害者等 ⑪インターネットによる人権侵害 ⑫北朝鮮当局によって拉致された被害者等<sup>17</sup>、さらに「白書」では、「その他の人権課題」として、(1)ホームレスの人権及びホームレスの自立の支援等 (2)性的指向に関する人権 (3)性自認に関する人権 (4)人身取引(トラフィッキング)事犯への適切な対応 (5)東日本大震災に伴う人権問題<sup>18</sup>があげられている。なお、人権課題は、課題に直接かかわりの深い自治体ごとに重点的な対応がみられることも、人権課題の特徴の一つといえよう<sup>19</sup>。

また、日本では、近年、子どもの貧困対策の推進に関する法律(2013)、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(2013)、いじめ防止対策推進法(2014)、本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律(2016)、部落差別の解消の推進に関する法律(2016)、「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律」(2019)など、個別人権課題に対応する法の成立、法ではないが、文部科学省による指示「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」(2015)等も、日本で公的に了解された個別的な人権課題の例示としてとらえることができよう<sup>20</sup>。

以上、人権教育の対象となる個別的な人権課題についても、公的に了解された人権課題を対象とする内容項目に関しては、人権教育の内容項目である知識、価値的・態度、技能等は、人権教育の目的である「人権尊重」や「人権擁護」の語と不可分のものと意図された、学習内容ということができよう。

以上から、「道徳科」検定教科書から人権教育との関連性を確認する、本研究の便宜をはかるため、あくまでも暫定的に、人権教育の目的及び枠組み、人権教育の内容項目、個別的な人権課題について、下記に5つの指標を整理しておきたい。

指標①：人権教育の題材に求められる前提としての知的理解と人権感覚の重視

人権尊重の精神の涵養に資する知的理解と人権尊重の精神の涵養に資する人権感覚の促進

指標②：人権問題の解決に資する実践的知識に関わる題材

自由、責任、正義、個人の尊厳、権利、義務などの諸概念、人権や人権侵害の歴史や現状、国内法や国際法、など。

指標③：人権問題の解決に資する姿勢や態度に関わる題材

人権や人間の尊厳，自他の人権や多様性に対する肯定的評価，責任感，正義や自由のために活動する意欲，など。

指標④：人権問題を感じ共感する技能の修得に関わる題材

コミュニケーション技能，合理的・分析的思考，偏見や差別を見きわめる技能，相違を認め受容できる技能，協力的・建設的に問題解決に取り組む技能，責任を負う技能，など。

指標⑤：個別的な人権課題，人権侵害事件等に関わる題材

以上5つの指標を用いて，以下，「道徳科」中学校検定教科書を検討していきたい。

### 3 「道徳科」中学校検定教科書にみる人権教育に係る指標の確認

前述したように，学校における道徳教育は，「道徳科」を要として「学校の教育活動全体を通じて行う」（総則）とされ，「道徳教育を進めるに当たっての留意事項」として，「人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭，学校，その他社会における具体的な生活の中に生かす」と記載され，同解説では「人間尊重の精神は，生命の尊重，人格の尊重，基本的人権，人間愛などの根底を貫く精神」であり「日本国憲法に述べられている「基本的人権」や，教育基本法に述べられている「人格の完成」，さらには，国際連合教育科学文化機関憲章（ユネスコ憲章）にいう「人間の尊厳」の精神も根本において共通するもの<sup>2)</sup>とされ，人権教育との接点ともいえるべき記述を確認することができる。

中学校の道徳科においては，22の内容項目が示されている。(1)自主，自律，自由と責任 (2)節度，節制 (3)向上心，個性の伸長 (4)希望と勇気，克己と強い意志 (5)真理の探究，創造 (6)思いやり，感謝 (7)礼儀 (8)友情，信頼 (9)相互理解，寛容 (10)遵法精神，公德心 (11)公正，公平，社会正義 (12)社会参画，公共の精神 (13)勤労 (14)家族愛，家庭生活の充実 (15)よりよい学校生活，集団生活の充実 (16)郷土の伝統と文化の尊重，郷土を愛する態度 (17)我が国の伝統と文化の尊重，国を愛する態度 (18)国際理解，国際貢献 (19)生命の尊さ (20)自然愛護 (21)感動，畏敬の念 (22)よりよく生きる喜び。

以下は，「道徳科」の中学校用検定教科書を発行する8社（①東京書籍 ②日文 ③日本教科書 ④廣済堂あかつき ⑤学研 ⑥学校図書 ⑦教育出版 ⑧光村図書）の教科書内容を，教材の題目ごとに整理し，人権教育の指標に沿った内容を含む題目に下線を付している。題目の前に付した記号は学年，内容項目，教科書会社を指している。1(1)①は中学校第1学年の，(1)自主，自律，自由と責任に位置付けられ，①は東京書籍発行の教科書であることを指す。

表1 「道徳科」中学校用検定教科書題目一覧

	中学校第1学年	中学校第2学年	中学校第3学年
(1) 自主，自律，自由と責任	1(1)①傍観者でいいのか*1(1)①父のひとこと*1(1)②二人の約束*1(1)②裏庭のできごと*1(1)③銀色のシャープペンシル*1(1)④この人生の主人公*1(1)④裏庭のできごと*1(1)④⑤ネット将棋*1(1)⑥博史のブログ*1(1)⑥父の一言*1(1)⑦自分で決める*1(1)⑦裏庭のできごと*1(1)⑧自分で決めるって？*1(1)⑧裏庭での出来事	2(1)①あの子のランドセル*2(1)①金語楼さんのこと*2(1)6②五月の風-カナ- *2(1)13②⑥ネット将棋*2(1)③十四歳の責任*2(1)③パトリージャー*2(1)④ジョイス*2(1)④小さなこと*2(1)④お前のカワウソがさびしがっているぞ*2(1)⑤父との約束*2(1)⑤黒蜘蛛の元次*2(1)⑥裏庭のできごと*2(1)⑦先輩*2(1)⑧カラカラカラ*2(1)⑧「許せないよね」	3(1)①ある日の午後から*3(1)①廃品回収で学んだこと*3(1)②町内会デビュー*3(1)②私も高校生*3(1)③スイッチ*3(1)③富士山を誇る*3(1)④リクエスト*3(1)④ピヨ子*3(1)④カントとルソー*3(1)⑤思い出のオムライス*3(1)⑤領民を愛した名君 上杉鷹山*3(1)⑥言葉の向こうに*3(1)⑥ドラッグは二つの顔をもつ*3(1)⑦父のひとこと*3(1)⑧「知らないよ。」*3(1)⑧三年目の「ごめんね」*3(1)⑧手品師
(2) 節度，節制	1(2)①山に来る資格がない*1(2)①もし，あのときにもどれるのなら*1(2)①忘れ物*1(2)②疾走，自転車ライダー*1(2)③命をつくるもの1(2)④釣りざおの思い出*1(2)⑤釣りざおの思い出*1(2)⑤日曜日の朝に*1(2)⑥自然教室のできごと*1(2)⑥災害に備える1(2)⑦古びた目覚まし時計*1(2)⑦一日前に戻れるとしたら*1(2)⑧自然教室での出来事*1(2)⑧「養生訓」より	2(2)①ばなしの女王*2(2)①田老の生徒が伝えたもの*2(2)②避難所にて*2(2)③ネット将棋*2(2)④これは駄目？これも駄目？*2(2)⑤鳥のように空を飛ばたい 高梨沙羅*2(2)⑤備えあれば*1(2)⑥市内マラソン大会出場*1(2)⑥命を救う防災*2(2)⑦留学で考えさせられたお金*2(2)⑦SNSとどうつき合う？*2(2)⑧夢中になるのは悪いこと？*2(2)⑧コラム『情報モラル』 ネット依存について考えよう*2(2)⑧箱根駅伝に挑む	3(2)①早朝ドリブル*3(2)①スマホに夢中！(1)*3(2)②ある朝のできごと*3(2)②独りを慎む*3(2)③MOTTAINAI*3(2)④独りを慎む*3(2)⑤独りを慎む*3(2)⑤便利なスマホ 使い方次第*3(2)⑥稲むらの火と堤防-浜口梧陵伝-*3(2)⑥受験生あつこの日記*3(2)⑦歩きスマホをどうするか*3(2)⑧小さいこと

<p>(3) 向上心、個性の伸長</p>	<p>1(3)①自分の性格が大嫌い！*1(3)②トマトとメロン*1(3)③オレは最強だ！*1(3)④パーツナリティー*1(3)⑤木箱の中の鉛筆たち*1(3)⑥イチローの軌跡*1(3)⑦自分らしさは*1(3)⑧まだ進化できる～イチロー選手の生き方～*1(3)⑧カメは自分を知っていた</p>	<p>2(3)①私は十四歳*2(3)②「自分」ってなんだろう*2(3)③僕たちのキャリアアップランニング*2(3)④ワン・ステップ*2(3)⑤虎*2(3)⑥ジャッジとチャレンジ*2(3)⑦負けを生かす技術*2(3)⑧五万回斬られた男・福本清三*2(3)⑨優しさの光線*2(3)⑩嫌われるのを恐れる気持ち</p>	<p>3(3)①ぼくにもこんな「よいところ」がある*3(3)②新しい夏のはじまり*3(3)③ジャマナカメ*3(3)④ぶれない心ー松井秀喜ー*3(3)⑤三十点の金メダル*3(3)⑥五万回斬られた男 福本清三*3(3)⑦ひび割れ壺*3(3)⑧がんばれ おまえ*3(3)⑨先人の言葉ー「論語」</p>
<p>(4) 希望と勇氣、克己と強い意志</p>	<p>1(4)①全てがリオでかみ合った*1(4)②サッカーの漫画を描きたい*1(4)③小惑星探査機「はやぶさ」の挑戦*1(4)④志～幼少の記憶より～*1(4)⑤目標は小刻みに*1(4)⑥終わりになき挑戦ー成田真由美ー*1(4)⑦西山先生へ*1(4)⑧認められたクラブ(続ける努力)*1(4)⑨願いのバトン*1(4)⑩「どうせ無理」をなくしたい*1(4)⑪夢への挑戦「パラカヌー」*1(4)⑫ヘレンと共にーアニー・サリバン*1(4)⑬栄光の架橋</p>	<p>2(4)①左手でつかんだ音楽*2(4)②「自分」を諦めない。立ち上がった瞬間が自信になる*2(4)③初心*2(4)④人工ガンをつくり出せ*2(4)⑤「キング」と呼ばれる理由ー三浦知良ー*本物の将棋指しー村山聖ー*2(4)⑥尾高博忠が目指した富岡製糸場*2(4)⑦木箱の中の鉛筆たち*2(4)⑧短所を武器とせよ*2(4)⑨へこたれない心*2(4)⑩雪に耐えて梅花麗しー黒田博樹*2(4)⑪夢を求めてパラリンピック</p>	<p>3(4)①高く遠い夢*3(4)②銀メダルから得たもの*3(4)③栄冠は君に輝く*3(4)④奇跡のりんご*3(4)⑤優しいうそ*3(4)⑥風に立つライオン*3(4)⑦スポーツの力 佐藤真海*3(4)⑧真珠の養殖を成し遂げた 御木本幸吉*3(4)⑨片足のアルペンスキーヤー三澤拓*3(4)⑩メダルの向こう側に*3(4)⑪『落葉』ー菱田春草</p>
<p>(5) 真理の探究、創造</p>	<p>1(5)①「どうせ無理」という言葉に負けない*1(5)②緑のじゅうたん*1(5)③金星探査機「あかつき」の挑戦*1(5)④ミスター・ヌードルー安藤百福ー*1(5)⑤32ロボット研究*1(5)⑥27天から送られた手紙*1(5)⑦26全ての人に安心、安全な水を*1(5)⑧六十二枚の天気図</p>	<p>2(5)①赤土の中の真実*2(5)②戦争を取材する*2(5)③僕の後ろに道は出来る*2(5)④ガストロカメラ*2(5)⑤ヒト・iPS細胞を求めて 山中伸弥*2(5)⑥ものづくり*2(5)⑦真実から真理を求めるーガリレオ・ガリレイー*2(5)⑧風に立つライオン*2(5)⑨スカイツリーにかけた夢</p>	<p>3(5)①湖の伝説*3(5)②iPS細胞で難病を治したい*3(5)③サムライ、西洋技術に挑む*3(5)④ショーペンハウアーとニーチェ*3(5)⑤町工場から宇宙へ*3(5)⑥正確な日本地図の追究 伊能忠敬*3(5)⑦夕立の日の真実*3(5)⑧無限の道*3(5)⑨根本を究めてー「お茶博士」辻村みちよ*3(5)⑩私が目ざした白ー陶芸家・前田昭博</p>
<p>(6) 思いやり、感謝</p>	<p>1(6)①その人が本当に望んでいること*1(6)①思いやりの日々*1(6)②心をつなぐバス*1(6)③人のフリみて*1(6)③二枚のチケット*1(6)④朝の地下鉄*1(6)④夜のくだもの屋*1(6)④地下鉄で*1(6)④旗*1(6)⑤バスと赤ちゃん(思いやり)*1(6)⑤金色の稲穂(感謝)*1(6)⑥ある元旦のこと*1(6)⑥うちわと涙*1(6)⑦不自然な独り言*1(6)⑦もったいない*1(6)⑦マンションの椅子～熊本地震の中で見つけたもの～*1(6)⑧席を譲ったけれど*1(6)⑧父の言葉*1(6)⑧旗*1(6)⑧橋の上のおおかみ</p>	<p>2(6)①心に寄りそう*2(6)①愛*2(6)②夜のくだもの屋*2(6)③百歳の詩人*2(6)④ありガトオヨ最後の年越しそば地図のある手紙*2(6)⑤旗(人を思いやる心)*2(6)⑥声援を力に 第七十二代横綱 稀勢の里*2(6)⑥ナイスジャンプ*2(6)⑥夜の果物屋*2(6)⑦譲る気持ちはあるのに……*2(6)⑦夜の果物屋*2(6)⑦地下鉄で*2(6)⑧松葉づえ*2(6)⑧いじめについて考える「いじめ」と「いじり」*2(6)⑧気づかなかったこと</p>	<p>3(6)①一冊の漫画雑誌*3(6)①埴生の宿*3(6)②塩むすび*3(6)③帰郷*3(6)③明日への光*3(6)④原稿用紙月明かりで見送った夜汽車ある元旦のこと*3(6)⑤「ありがとう。」の不思議な力*3(6)⑤電車の中で*3(6)⑤五井先生と太郎*3(6)⑥女子高生たちの親切*3(6)⑥黄色いお弁当箱*3(6)⑦足袋の季節*3(6)⑧背番号1</p>
<p>(7) 礼儀</p>	<p>1(7)①朝市の「おはようございます」*1(7)②「愛情貯金」をはじめませんか*1(7)③おはよう*1(7)④半分おとな半分こども*1(7)⑤挨拶しますか、しませんか*1(7)⑥ご挨拶の勧め*1(7)⑦おはよう*1(7)⑧学習机</p>	<p>2(7)①あいさつ*2(7)②挨拶は言葉のスキップ*2(7)③「道」の文化*2(7)④いつでも・どこでも・誰とでも*2(7)⑤お通夜のこと*2(7)⑥一枚の葉書*2(7)⑦一枚のはがき*2(7)⑧秀さんの心は</p>	<p>3(7)①言葉おしほ*3(7)②出迎え三步、見送り七歩*3(7)③礼儀はなぜ必要なのか*3(7)④席を譲られて*3(7)⑤礼儀って何*3(7)⑥うるわしき伝統*3(7)⑦校長先生の模擬面接*3(7)⑧礼儀正しさとは</p>
<p>(8) 友情、信頼</p>	<p>1(8)②旗*1(8)⑥旗*1(8)④アイツ吾一と京造*1(8)⑤吾一と京造*1(8)①短文投稿サイトに友達の悪口を書く*1(8)①班での出来事*1(8)②近くにいた友*1(8)②部活の帰り*1(8)③いつもいっしょに*1(8)③ちゅうたがくれたもの*1(8)③リョウとマキ～First Love～*1(8)⑤あるピエロの物語*1(8)⑤クラスメイト(相手のよさを認め合う)*1(8)⑦最強の敵最大の友*1(8)⑦チョコの行方*1(8)⑧いちばん高い値段の絵*1(8)⑧親友</p>	<p>2(8)①ゴール*2(8)②みんなでとんだ！*2(8)②五月の風ーミカーー*2(8)②ライバル*2(8)②恋する涙*2(8)③リョウとマキ～Triangle Zone～*2(8)③雨の日のレストラン*2(8)③昭和の大スターと平成の大スター*2(8)④嵐のあとにアイツとセントバレンタインデー*2(8)⑤サキとタク*2(8)⑤星置きの滝*2(8)⑥ゴリラのまねをした彼女を好きになった*2(8)⑥千五百メートル走*2(8)⑦たすきとポンポン*2(8)⑦本当の友達って*2(8)⑧友達はライバル*2(8)⑧違うんだよ、健司*2(8)⑧泣いた赤おに</p>	<p>3(8)①私を支えてくれた言葉*3(8)①合格通知*3(8)②違うんだよ、健司*3(8)②ゴリラのまねをした彼女を好きになった*3(8)③一通のメッセージから始まる物語*3(8)③嵐の後に*3(8)③リョウとマキ～Stand by Me～*3(8)④ライバルアイツの進路選択*3(8)⑤私たちの夏*3(8)⑤二人のエース*3(8)⑥鏡の中の私*3(8)⑥五月の風*3(8)⑦僕は友達を裏切ったのか？*3(8)⑦フットライト*3(8)⑧私がピンク色のキャップをかぶるわけ*3(8)⑧嵐の後に</p>

(9) 相互理解、寛容	<p>1(9)①いじめに当たるのはどれだろう* 1①ふたつの心*1(9)①落語が教えてくれること*1(9)②自分だけ「余り」になってしまう……*1(9)③嘉納治五郎先生との出会い*1(9)③二つの足跡*1(9)④⑧言葉の向こうに*1(9)⑤ふと目の前に 森繁久彌*1(9)⑥約束*1(9)⑦「いじり」? 「いじめ」? *1(9)⑦ショートパンツ初体験inアメリカ*1(9)⑧私の話を聞いてね・共生持続可能な社会のために</p>	<p>2(9)①遠足で学んだこと*2(9)①なみだ*2(9)②コトコの涙*2(9)③だから歌い続ける*2(9)③あなたが見えているもの*2(9)③⑤言葉の向こうに*2(9)④野生の猛禽を守るために*2(9)⑤蹴り続けたボール*2(9)⑥茂の悩み*2(9)⑦まるごと好きです*2(9)⑧ジコチュウ*2(9)⑧「桃太郎」の鬼退治*2①どんなことでも相談し合える仲間に</p>	<p>3(9)①しあわせ*3(9)①おたがいの「ちがひ」を認め合おう*3(9)①心にしみこむ「言葉」の力-池上彰*3(9)②思いを伝えることの難しさ*3(9)②言葉の向こうに*3(9)③席を譲ってはいけません*3(9)④山寺のびわの実*3(9)⑤笛*3(9)⑤どうして?*3(9)⑥まるごと好きです*3(9)⑦あなたは顔で差別をしますか*3(9)⑧アイツとオレ*3(9)⑧恩讐の彼方に</p>
(10) 遵法精神、公德心	<p>1(10)①選手に選ばれて*1(10)①ごみ箱をもっと増やして*1(10)②ふれあい直売所*1(10)②使っても大丈夫?*1(10)③③傘の下・僕じゃないのに*1(10)③③自分の心の中の自分*1(10)④鳥耕作ある朝の出来事人に迷惑をかけなければいいのか?*1(10)⑤キャッチ アンド リリース*1(10)⑤傘の下*1(10)⑥キャッチボール*1(10)⑥淳の住む町*1(10)⑦ルールとマナー*1(10)⑧仏の銀蔵*1(10)⑧雨の日の昇降口</p>	<p>2(10)①許さない心*2(10)①「決まり」を守る社会を創るために、あなたにもできること*2(10)①②宝塚方面行き-西宮北口駅*2(10)②美しい鳥取砂丘*2(10)②オーストリアのマス川*2(10)③マナーとルール*2(10)③二通の手紙*2(10)④仏の銀蔵傘の下*2(10)⑤ごみ収集場所をどこに*2(10)⑤キャッチボール*2(10)⑥二通の手紙*2(10)⑥ワンス・アポン・ア・タイム・イン・ジャパン*2(10)⑦怒りの救助活動*2(10)⑦違反摘発*2(10)⑧民主主義と多数決の近くて遠い関係*2(10)⑧無人スタンド</p>	<p>3(10)①缶コーヒー*3(10)①缶コーヒーをめぐるやりとりの場面をやってみよう*3(10)①②⑦⑧二通の手紙*3(10)②ワンス・アポン・ア・タイム・イン・ジャパン*3(10)③誓い*3(10)③苦悩の決断*3(10)④元さんと二通の手紙ベビーカー論争*3(10)⑤インターネットと共に*3(10)⑥誰が本当の作者?*3(10)⑥万引き*3(10)⑦死刑制度を考える*3(10)⑧闇の中の炎</p>
(11) 公正、公平、社会正義	<p>1(11)①席替え*1(11)①くじ引きの後の場面をやってみよう*1(11)①いじめっ子の気持ち*1(11)②さかなのなみだ*1(11)②公平と不公平*1(11)③永久欠番42*1(11)③グループ*1(11)③もも子*1(11)④ヨシト*④1(11)ある日のバッテリーボックス*1(11)⑤うわさで決めるの?*1(11)⑤公平とはなんだろう*1(11)⑥誰も知らない*1(11)⑥卒業文集最後の二行*1(11)⑦あなたならどうしますか*1(11)⑧魚の涙*1(11)⑧やっぱり樹里は</p>	<p>2(11)①⑦私のせいじゃない*2(11)①渡良瀬川の鮫毒*2(11)②リスペクトアザース*2(11)②ヨシト*2(11)③キスからもらった勇氣*2(11)③こんなとき、どうしたらいいの?*2(11)④君、想像したことある?*2(11)④路上に散った正義感*2(11)⑤ソムチャイ君の笑顔*2(11)⑥傍観者でいいのか*2(11)⑥自分らしい多様な生き方を共に実現させるためにできること*2(11)⑦最優秀*2(11)⑧明日、みんなで着よう*2(11)⑧クロスプレー</p>	<p>3(11)①無実の罪*3(11)①伝えたいことがある*3(11)①忘れてはいけないこと*3(11)②④⑤⑦卒業文集最後の二行*3(11)②命の大切さ*3(11)③ニュースで討論「支え合いは当たり前」*3(11)③語り伝えるもの*3(11)④虹の国-ネルソン・マンデラ*3(11)⑥豊かな阿賀の流れよ-新潟水俣病の苦悩をこえて-*3(11)⑥僕たちがしたこと*3(11)⑦それでも僕は桃を買う*3(11)⑧小さな出来事*3(11)⑧ほくの物語 あなたの物語</p>
(12) 社会参画、公共の精神	<p>1(12)①楽寿号に乗って*1(12)①本が泣いています*1(12)②あったほうがいい?*1(12)②富士山から変えていく*1(12)③仏の銀蔵*1(12)③プロレスごっこ*1(12)③町内会デビュー*1(12)④加山さんの願い*1(12)⑤町内会デビュー*1(12)⑥アルミ缶回収*1(12)⑥小さな一歩*1(12)⑦選ぶということ*1(12)⑧僕たちの未来</p>	<p>2(12)①住みよい社会に*2(12)①今度は私の番だ*2(12)②行動する建築家坂茂*2(12)②門掃き*2(12)③ロックンローラー*2(12)③秀明の初ボランテア*2(12)④迷惑とは何ぞ*2(12)⑤ヨコスカネイビーパーカー*2(12)⑤未来から来たおじいさん*2(12)⑥加山さんの願い*2(12)⑥大使になった父親*2(12)⑦まだ食べられるのに*2(12)⑦復旧にとどまらず、復興を〜後藤新平〜*2(12)⑦モノづくりのまち、東大阪の会社見学*2(12)⑧ちがいの意味を見直す*2(12)⑧コラム『社会参画』地域の一員として-中学生の社会参画*2(12)⑧紙芝居</p>	<p>3(12)①加山さんの願い*3(12)①社会からの無言の賞賛を感じる感性*3(12)②No Charity, but a Chance!*3(12)②自分・相手・周りの人*3(12)②公園に桜を*3(12)③プラットホームのできごと*3(12)③ライフ・ロール*3(12)④招集通知-あなたが裁判員になるとき-*3(12)⑤未来の日本へデビュー*3(12)⑥富士山の、消えた「白い川」*3(12)⑥ごみ収集車*3(12)⑦鳩が飛び立つ日〜石井筆子〜*3(12)⑦憧れの消防団*3(12)⑦音楽は対話の始まり*3(12)⑧一票を投じることの意味*3(12)⑧コラム『社会参画』社会の一員として*3(12)⑧電話番号*3①いじめから目をそむけない</p>
(13) 勤労	<p>1(13)①新しいプライド*1(13)①「看護する」仕事*1(13)②私は清掃のプロになる*1(13)②役に立つことができるかな*1(13)③仕事と心*1(13)④午前一時四十分*1(13)⑤掃除の神様が教えてくれたこと*1(13)⑥クリームパン*1(13)⑥一房のぶどう*1(13)⑦幸せな仕事って*1(13)⑧私が働く理由</p>	<p>2(13)①震災の中で*2(13)①お弁当のことで文句を言われた場面をやってみよう*2(13)①我、ここに生きる*2(13)②そうじの神様が教えてくれたこと*2(13)②小さな工場の大きな仕事*2(13)③繁盛のためには*2(13)③加山さんの願い*2(13)④加奈子の職場体験*2(13)⑤あるレジ打ちの女性*2(13)⑥父の言葉の意味を知って*2(13)⑥ふきのとう*2(13)⑦清掃はやさしさ*2(13)⑧段ボールベッドへの思い</p>	<p>3(13)①好きな仕事か安定かなやんでいる*3(13)①たんぼ作業所*3(13)②あるレジ打ちの女性*3(13)③惣菜屋のおばちゃん*3(13)④てんびんばかり*3(13)⑤「血の通った義足」を作りたい*3(13)⑥幻のノーベル賞-ガンの研究に生涯をかけた山極勝三郎-*3(13)⑥あるレジ打ちの女性*3(13)⑦ふきのとう*3(13)⑧聖地甲子園の土守</p>

<p>(14) 家族愛、家庭生活の充実</p>	<p>1(14)①母はおいしい*1(14)②家族と支え合うなかで*1(14)③形見*1(14)③ペーパーバード*1(14)④美しい母の顔ふたりの子供たちへ*1(14)⑤黒い弁当*1(14)⑥いつも一緒に*1(14)⑥君が生まれた日*1(14)⑦ごめんね、おばあちゃん*1(14)⑧さよならの学校</p>	<p>2(14)①ごめんね、おばあちゃん*2(14)②きいちゃん*2(14)③母のアナウンス*2(14)④尊い玉子*2(14)④一冊のノート*2(14)⑤美しい母の顔*2(14)⑥ごちそう*2(14)⑦飛鳥へ、そしてまだ見ぬ子へ*2(14)⑧三百六十五×十四回分の「ありがとう」</p>	<p>3(14)①背筋をのばして*3(14)②③⑤⑥⑧一冊のノート*3(14)③迷わず選ぶ*3(14)④スダチの苗木母と子のロードレース*3(14)⑦テーブルの卵焼き</p>
<p>(15) よりよい学校生活、集団生活の充実</p>	<p>1(15)①全校一を目指して*1(15)②むかで競走*1(15)③希望の風に*1(15)④二枚の写真*1(15)⑤伝統を伝説に*1(15)⑤明かりの下の燭台*1(15)⑥合唱コンクール1(15)⑦やき中を誇りに*1(15)⑧一粒の種*1(15)⑧初めての伴奏</p>	<p>2(15)①四十七年に感謝をこめて*2(15)②ハイタッチがくれたもの*2(15)③15分間のクリーン作戦*2(15)④明かりの下の燭台*2(15)⑤三度目の号泣*2(15)⑤校門を掘る子*2(15)⑥私の存在*2(15)⑦三年生を送る会*2(15)⑧テニス部の危機</p>	<p>3(15)①受けつがれる思い*3(15)②お別れ会*3(15)③明かりの下の燭台*3(15)④監督がくれたメダル*3(15)⑤私たちの合唱コンクール*3(15)⑥明かりの下の燭台=鈴木恵美子*3(15)⑦旅立ちの日に*3(15)⑧巣立ちの歌が聞こえる</p>
<p>(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度</p>	<p>1(16)①はくのみふるさと*1(16)①郷土を彫る*1(16)②震災を乗り越えて-復活した郷土芸能-*1(16)②篠崎街道*1(16)③・銅像が教えてくれたこと*1(16)③・雄司の自慢*1(16)④アップルロード作戦*1(16)⑤10壊れた掲示板*1(16)⑥21飛騨の匠の造った家*1(16)⑥32生き続ける遺産 深良用水*1(16)⑦24 伝えたい味*1(16)⑦33受け継がれる博愛の精神~ロシア兵墓地の清掃~*1(16)⑦34子どもも親も笑顔の町に*1(16)⑦35「夢」をつなぐ~名古屋城本丸御殿の復元にかけた思い~*1(16)⑧21なおしもん</p>	<p>2(16)①祭りの夜*2(16)②和樹の夏祭り*2(16)③よ~いや、さ~*2(16)③受け継がれた夜*2(16)④相馬野馬追の季節*2(16)⑤五色桜*2(16)⑥台風の島に生きる*2(16)⑥脈々と受け継がれる錦帯橋*2(16)⑦伝えるということ*2(16)⑦サッカーの種をまく*2(16)⑧私の町</p>	<p>3(16)①鳥唄の心を伝えたい*3(16)②「稲むらの火」余話*3(16)③なせば成る*3(16)④千年先のふるさとへ*3(16)⑤ねぶたを夢見て*3(16)⑥桑の都*3(16)⑥北限の稲作に挑む*3(16)⑦昇き縄*3(16)⑦琵琶湖の水を京都に送る~郷土の復興に尽くした北垣国道と田辺朔郎~*3(16)⑧村長の決断</p>
<p>(17) 我が国を愛する態度、我が国の伝統と文化の尊重</p>	<p>1(17)①古都の雅、菓子心*1(17)②奈良筆に生きる*1(17)③環境先進国江戸1(17)④音を宿す*1(17)⑤27日本の心と技*1(17)⑥言葉の壁は「日本舞踊」で乗り越えた*1(17)⑥思いを結び、人を結ぶ水引*1(17)⑦「庶民の笑い」を絶やさない~落語家・桂米朝さんの生涯~*1(17)⑧日本のお米</p>	<p>2(17)①心でいただく伝統の味*2(17)①大切なものは何? *2(17)②さよなら、ホストファミリー*2(17)②包む*2(17)③日本にオリンピックを呼んだ男*2(17)③ウズベキスタンの桜*2(17)④国*2(17)⑤金閣再建 黄金天井に挑む*2(17)⑥日本人として*2(17)⑥国*2(17)⑦狂言師・野村萬斎物語*2(17)⑧さよなら、ホストファミリー</p>	<p>3(17)①花火と灯ろう流し*3(17)②昔と今を結ぶ糸*3(17)②父は能楽師*3(17)③不揃いでなくちゃあかんのや*3(17)③小泉八雲が見た出雲の国*3(17)④運命の木-姫路城の大柱-*3(17)⑤6白川郷に魅せられて*3(17)⑥命に響く「雅楽」東儀秀樹*3(17)⑥相撲-体と心を鍛える国技-*3(17)⑦外国から見た日本人*3(17)⑦世界に誇る「BONSAI」*3(17)⑧障子あかり</p>
<p>(18) 国際理解、国際貢献</p>	<p>1(18)①日本から来たおばさん*1(18)②花火に込めた平和への願い*1(18)②違いを乗り越えて*1(18)③大地-八田與一の夢*1(18)④国際協力ってどういうこと?*1(18)⑤真の国際人 嘉納治五郎*1(18)⑤エルトゥール号の遭難*1(18)⑥「私は、『おもてなし親善大使』*1(18)⑥大人たちの都合で無数の子どもの命が*1(18)⑦歴史を変えた決断*1(18)⑧異文化の人々と共に生きる</p>	<p>2(18)①六千人の命のビザ・外交官杉原千畝と六千人の命のビザ*2(18)②⑦海と空-樫野の人々-*2(18)②ダシヨ-ニシオカ*2(18)③白菊*2(18)④最も悲しむべきことは、病めることでも貧しいことでもなく*2(18)⑤危険地帯から実りの土地へ*2(18)⑥希望のビザ*2(18)⑥僕にとっての東京オリンピック*2(18)⑦ドイツ・ヴリーツェンに眠る日本人医師~肥沼信次の生涯~*2(18)⑦六千人の命のビザ*2(18)⑧アンネのバラ*2(18)⑧国際人道支援-どんな仕事があるのだろう</p>	<p>3(18)①その子の世界、私の世界*3(18)①そのこ*3(18)①命見つめて*3(18)②命のトランジットビザ*3(18)②本とペンで世界を変えよう*3(18)③はくらの留学体験記*3(18)③④海と空-樫野の人々-*3(18)⑤国際協力師 山本敏晴*3(18)⑤足元からできること*3(18)⑤杉原千畝の選択*3(18)⑥真の国際人-嘉納治五郎-*3(18)⑥平和への架け橋*3(18)⑦平和への願い*3(18)⑦あふれる愛*3(18)⑧希望の義足*3(18)⑧本当に意味のある国際協力とは</p>

(19) 生命の尊さ	1(19)①いのちって何だろう*1(19)①決断! 骨髄バンク移植第一号*1(19)①あなたはひかり*1(19)①見沼に降る星*1(19)②④あなたはすごい力で生まれてきた*1(19)②あふれる愛*1(19)②ゆうへー生きていてくれてありがとうー*1(19)③過去からのメッセージ*1(19)③誰かのために*1(19)④曙号の死*1(19)④語りかける目*1(19)⑤あなたに*1(19)⑤たとえ僕に明日はなくとも*1(19)⑤捨て犬・未来*1(19)⑥あなたの「生きようとする力」*1(19)⑥母の死が教えてくれたこと*1(19)⑦あなたがうまれた ひ*1(19)⑦いのちを考える*1(19)⑦よく生きること、よく死ぬこと*1(19)⑧ひまわり*1(19)⑧捨てられた悲しみ*1(19)⑧エルマおばあさんからの「最後の贈りもの」	2(19)①奇跡の一週間*2(19)①妹に*2(19)①三つのいのちについて考える*2(19)①書かれなかった遺書*2(19)②最後のパートナー*2(19)②体験ナースをとおして*2(19)②命を見つめてー猿渡瞳さんの六百四十六日ー*2(19)③コンスタンチン君命のリレー*2(19)③キミばあちゃんの椿*2(19)④燃え盛る炎天使の舞い降りた朝看取りの医者*2(19)⑤そこにいるだけでいい*2(19)⑤ブラック・ジャック ふたりの黒い医者*2(19)⑤絶やしてはならない 緒方洪庵*2(19)⑥大きな木*2(19)⑥命ということ*2(19)⑦たったひとつのたからもの*2(19)⑦国境なき医師団・貫戸朋子//2(19)⑧命が生まれるそのときに*2(19)⑧つながる命*2(19)⑧泣きすぎてはいけない	3(19)①あなたはすごい力で生まれてきた*3(19)①くちびるに歌をもて3(19)①人間の命とはー人間の命の尊さ・大切さを考える*3(19)①たとえはく明日はなくとも*3(19)②エリカー奇跡のいのちーユダヤ人の悲劇*3(19)②臓器ドナー*3(19)②希望*3(19)③ひさの星*3(19)③臓器移植をめぐる命と心*3(19)③いのちの絆*3(19)④誰かのために//3(19)④ドナー*3(19)④高砂丸とポトマック川のこと*3(19)⑤余命ゼロ 命のメッセージ*3(19)⑤忘れられないご馳走*3(19)⑤あなたの命は誰のもの*3(19)⑥心のおくりびと*3(19)⑥和田真由美さんの手記*3(19)⑦ハゲワシと少女*3(19)⑦ニワトリ*3(19)⑦家族の思いと意思表示カード*3(19)⑧あの日 生まれた命*3(19)⑧命の選択*3(19)⑧命と向き合う
(20) 自然愛護	1(20)①桜に集う人の思い*1(20)②木の声を聞く*1(20)③ニッポニア・ニッポン*1(20)④あのハチドリのようにーワンガリ・マータイー*1(20)⑤夏の思い出*1(20)⑥飛べ! 出水のツル*1(20)⑦富士山を守っていくために*1(20)⑧鳥が見せてくれたもの	2(20)①冬の使者「マガン」*2(20)②よみがえれ、えりもの森*2(20)③ガラスの地球を救え*2(20)④樹齢七千年の杉*2(20)⑤コスモスR計画*2(20)⑤リンゴが教えてくれたこと*2(20)⑥沈黙の海*2(20)⑦釧路湿原を守れ*2(20)⑧僕の職場は富士山です	3(20)①よみがえれ、日本海! *3(20)「川端」のある暮らし*3(20)③峠*3(20)④襟裳のこと*3(20)⑤地球の未来のために*3(20)⑥森に起きていること*3(20)⑦変わりゆく地球*3(20)⑦サルも人も愛した写真家
(21) 感動、畏敬の念	1(21)①火の鳥*1(21)②オーロラー光のカーテンー*1(21)③ほっちゃんれ1(21)④ガジュマルの木*1(21)⑤自然の懐に抱かれて*1(21)⑥最後の一葉*1(21)⑦オーロラの向こうに*1(21)⑧命の木	2(21)①夜は人間以外のものの時間*2(21)②樹齢七千年の杉*2(21)③いのり*2(21)④人間であることの美しさ*2(21)⑤厳かなるもの*2(21)⑥自分自身の絵を追い求めてー画家・田中一村の生涯ー*2(21)⑦ハッチを開けて、知らない世界へ*2(21)⑧宇宙の始まりに思いを寄せて	3(21)①ハッチを開けて、知らない世界へ*3(21)風景開眼*3(21)③不思議な光景*3(21)④ほっちゃんれ*3(21)⑤はらかなる生命の物語*3(21)⑥瑠璃色の星*3(21)⑦もう一つの時間*3(21)⑦カムイモシリとアイヌモシリ*3(21)⑧サグラダ・ファミリアー受け継がれていく思い
(22) よりよく生きる喜び	1(22)①銀色のシャープペンシル*1(22)①花に寄せて*1(22)②挫折から希望へ*1(22)②⑥いつわりのバイオリン*1(22)③ネパールのビール*1(22)③レーナ・マリアの挑戦*1(22)④いつわりのバイオリン*1(22)④⑧銀色のシャープペンシル*1(22)④よみがえった良心*1(22)⑤いっぱい生きる 全盲の中学校教師*1(22)⑤ネパールのビール*1(22)⑥銀色のシャープペンシル*2(22)⑦私に宇宙のプレゼント*1(22)⑦二度と通らない旅人*1(22)⑧撮れなかった一枚の写真	2(22)①人間の強さ・気高さ*2(22)①本場の私*2(22)①良心とのたたかい*2(22)②自分の弱さと戦え*2(22)②③足袋の季節*2(22)③絶望からの生還*2(22)③二人の剣士*2(22)④ネパールのビールタッチアウト足袋の季節*2(22)⑤足袋の季節*2(22)⑥「これ以上、がんばれない。」って平気な顔で言うな。*2(22)⑥最後まで踊り続けたい*2(22)⑦語りかける目*2(22)⑧あと一歩だけ、前に*2(22)⑧人って、本当は?	3(22)①背番号15が歩んだ道ー黒田博樹*3(22)①足袋の季節*3(22)風に立つライオン*3(22)世界を動かした美*3(22)③いつかは言いたい二度目のごめん*3(22)③④⑤⑥⑧二人の弟子*3(22)⑤亡き母へのトランペット*3(22)⑥足袋の季節*3(22)⑦カーテンの向こう*3(22)⑦「人間としての誇り」*3(22)⑧足袋の季節*3(22)⑧手紙

#### 4 人権教育の指標に対応した題材

「道徳科」中学校用検定教科書には、人権教育の指標の多くを確認できる題材の中に、人権課題に直面し人権の発展に貢献した人物等に関する内容を中心とするものが、少なくない。以下、題材の内容、教科書における教材の位置付け等について、指標①②③④⑤との対応関係が一定程度認められる題目について、内容の特色ごとに整理し、抽出根拠を示しながら、考察を加えることとしたい。

##### 4.1 指標①をふまえ、指標②③を中心に関連性が認められる題材（歴史的な人権侵害事項を主たる題材とするもの）

2(18)④「最も悲しむべきことは、病めることでも貧しいことでもなく」は、マザー・テレサの生き方を通して「世界中の人々と協働し、互いに尊重し合いながら、国際平和と人類の幸福に寄与する道徳的実践意欲を培う」としている。学習指導要領における内容項目（以下「内容項目」）では(18)国際理解、国際貢献である。貧困により人間



の尊厳を奪われた人々を病院に運び、「死を待つ人の家」をつくる姿が描かれて、人間の尊厳を重視した言葉が記されている。同様にマザー・テレサを題材としたものとして、1(19)②・3(18)⑦「あふれる愛」がある。このうち、1(19)②は「生命の尊さ」に位置付けられている。

「道徳科」の中学校検定教科書には、世界の人権侵害状況に立ち向かい、行動する女性の姿が、数多く取り上げられている。マララ・ユスフザイを取り上げた3(18)②「本とペンで世界を変えよう」は、「世界平和を考える国際的な視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心情を育てる」とされ、マララの「本とペンを手に取り、全世界の無学、貧困、テロに立ち向かいましょう」「一人の子ども、一人の教師、一冊の本、そして1本のペンが、世界を変えられるのです。教育以外に解決策はありません。」という国連でのスピーチが引用されている。また、1(18)⑦「歴史を変えた決断」は、「国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に貢献するという理想を抱き、その理想の実現に努めようとする態度を育てる」とされ、第八代国連難民高等弁務官であった緒方貞子を取り上げ、紛争や迫害から逃れた難民を救う緒方貞子の行動が紹介されている。いずれも、弱者をとりまく暴力的人権侵害状況に立ち向かう人の姿が具体的に描かれていることは、他の題目同様、社会科、総合的な学習の時間とも連携した、人権教育の学習に活用可能な内容といえる。

アフリカ系アメリカ人に対する差別に関わる題材も少なくない。1(11)③「永久欠番」は、「過去の酷い人種差別の社会で、差別を克服した主人公や彼を支えた周囲の人たちの行動や考え方を知り、積極的に差別や偏見のない社会をつくらうとする心情を養う」としている。内容項目は、(11)公正、公平、社会正義である。過酷な人種差別を受けながら、アフリカ系アメリカ人として初めてメジャーリーガーになった、ジャッキー・ロビンソン(1919-1972)を扱っている。いわれのない差別や中傷、嫌がらせ、脅迫などを乗り越え、チームメイトとの絆を深めていく姿が描かれている。また、3(11)④「虹の国-ネルソン・マンデラ-」では、「無知から生まれる偏見や不寛容な心など人間の弱さや醜さに気付き、正義と公正さを重んじ、差別や偏見のない社会の実現に努める道徳的実践意欲を培う」とされている。この記述は、指標③(人権問題の解決に資する姿勢や態度に関わる題材)に関わり、「第三次とりまとめ」からの直接引用になるが、「価値的・態度的側面(自他の価値を尊重しようとする意欲や態度)」、「正義、自由、平等などの実現という理想に向かって活動しようとする意欲や態度」とほぼ同様のものといえることができる。

いま一つ、3(11)⑧「ぼくの物語 あなたの物語」は、作家ジュリアス・レスターのメッセージをもとに、「差別や偏見のない社会を築くために大切な心について考えさせ、公正、公平で、社会正義に基づいた行動を取っていこうとする判断力と心情を育てる」としている。ここでは、「『私の人種は、他の人種より優れている。』と言う人は、どんな気持ちなんだろう」、「ぼくは、人種や肌の色で、人を判断しないことにする。あなたは どうする?」などの記述とあわせて、アクティビティ「違いの違い-これはあってよい違い?あってはならない違い?」が置かれる。「違いの違い」は、自治体が作成する人権教育関係指導資料集においても数多く紹介される学習であるが<sup>22</sup>、3(11)⑧のように、人権侵害の事例とあわせる形で「参加体験型学習」が置かれている点は、人権教育の方法としても、評価できる。

日本及び日本人を取り上げた題材としては、2(18)①「六千人の命のビザ・外交官杉原千畝と六千人の命のビザ」がある。杉原千畝の行動を通して、人類愛の精神と国際的視野から、「世界の平和と人類の発展に寄与しようとする心情を育てる」とされる題材である。ナチス・ドイツに迫害されたユダヤ人に対し人道的行為を行った杉原千畝の姿だけでなく、アウシュビッツへの収容の事実など、ホロコーストの歴史的事実(指標②)が説明されている。同じく杉原を取り上げた、3(18)②「命のトランジットビザ」も、杉原に関する記述に関連させて、ホロコーストから奇跡的に生還した人物を扱った3(19)②「エリカー 奇跡のいのち-」(「生命の尊さ」)、さらに強制収容所やゲットーなど迫害の歴史に関する資料である3(19)②「ユダヤ人の悲劇」が配置されている。いずれも、歴史的な人権侵害の事実と丁寧に触れる内容となっている。上記ほどではないが、3(18)⑤「杉原千畝の選択」、2(18)⑦「六千人の命のビザ」で、杉原千畝が取り上げられている。

3(11)⑥「豊かなれ阿賀の流れよ-新潟水俣病の苦悩をこえて」は、個別的な人権課題(指標⑤)を含む題材<sup>23</sup>である。新潟水俣病をめぐる歴史的事実をふまえ「いわれのない差別や偏見を受けて苦しむ家族や人々の姿」を通して、「正義と公平」を考え、「差別や偏見のない社会を築こうとする心情を深める」としている。とりわけ、水俣病患者に向けて、たたりや伝染病との風説が流布し、深刻な結婚差別や就職差別、中傷を受けた事実、また、病気、差別や偏見、公害訴訟と闘う人々の姿が描かれるなど、歴史的な人権侵害事象が具体的に記載されている(指標②)点は、注目に値する。

2(11)①「渡良瀬川の鉍毒」は、田中正造の「生き方を通して、社会正義を重んじ公平で公正な社会の実現に努めようとする心情を育てる」とされている。足尾銅山鉍毒事件は、栃木県教育委員会(2003)<sup>24</sup>が作成した人権教育関係資料にも掲載され、社会科でも学習する内容であるが、2(11)①は、住民の被害と奪われた人権、権利回復のために

生涯をささげた田中正造の歴史的事実が丁寧に記述されている。

3(11)①「伝えたいことがある・わすれてはいけないこと」は、ビキニ環礁でアメリカの水素爆弾実験(1954)による死の灰を浴びたマグロ漁船、第五福竜丸の被害を扱った題材である。差別と闘った被爆者、大石又七の生き方とともに、第五福竜丸の被爆による被害を理解するための資料が加えられている。この題材の取り扱いについては、「差別や偏見を許さない断固とした姿勢でたたかう大石さんの姿に共感することで、だれに対しても公正、公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めようとする態度を育てる」とされている。人権教育の基本的前提(指標①)をふまえた題材といえよう。

以上、ここに取り上げた題目の内容は、「第三次とりまとめ」が重視する、歴史的あるいは現在生起する個別具体的な人権侵害を題材とし、人権侵害等の歴史や現状(知識的側面)、人間の尊厳、自己価値及び他者の価値を感知する感覚や正義、自由、平等などの実現という理想に向かって活動しようとする意欲や態度(価値的態度的側面)、他者の痛みや感情を共感的に受容できるための想像力や感受性(技能的側面)を含む題材であり、教材といえる。

#### 4.2 指標①をふまえ③④⑤を中心に関連性が認められる題材(社会的人権侵害事項を主たる題材とするもの)

「道徳科」中学校用検定教科書では、児童生徒が、社会生活において、直接または間接的に確認することのできる人権課題が、数多く取り扱われている。3(9)⑦「あなたは顔で差別をしますか」は、見た目を理由に差別・偏見を受け、「うつる病気ではないか」と、さらなる差別を受けた筆者の実体験から、噂やデマに惑わされず、正しい知識・情報をもつこと、「悲しみの中で暮らしている人」を忘れない理性、「つらい体験や思い」への共感性を訴える内容となっている。対応する内容項目は(9)「相互理解、寛容」である。教科書では、「個性や立場を尊重し、寛容な心をもって相互に理解し、謙虚に他に学び、自らを高めていこうとする態度を育てる」との位置づけがなされている。現実の人権侵害が題材となり、人権侵害を受けた被害者への共感的姿勢、人権教育関係の文書で、国連憲章前文(1945)、世界人権宣言(1948)以来、国際的な人権関係の宣言や条約で繰り返し用いられてきた「尊厳」「寛容」の語の意味を直接反映させ、指標①はもとより、指標②(人権問題の解決に資する実践的知識)、指標③(人権問題の解決に資する姿勢や態度)の視点を強く意識した教材となっている。

社会的な人権課題としては、文部科学省が教員を対象とする研修を進めている、性的マイノリティに関わる内容<sup>25</sup>もみえる。2(11)⑥「自分らしい多様な生き方を共に実現させるためにできること」は、LGBTに関する解説をふまえて、「同調圧力に屈さず多様性を認め合って生きる社会を築こうとする公正で公平な態度と心情を高める」としている。内容項目は、公正、公平、社会正義である。「みんなと違うところを取り立てた偏見」が深く傷つけること等が指摘されている。「自分らしくありのままに生きる」ためには、「周囲の偏見のない認識と共に生きようとする意識」「周囲に流されることなく偏見を解消していこうとする心の強さ」を訴えている。なお、LGBTについては、2(9)③「だから歌い続ける」でも取り上げられている。

1(9)⑧「私の話を聞いてね・共生持続可能な社会のために」は、手に障害がある人がネット上に発信したメッセージをとりあげ、「自他の個性や立場を尊重し合って生きることの大切さ」「違いを認め合っていこうとする実践意欲と態度」を育てるとしている。内容項目は、「相互理解、寛容」である。「誰かの足りないものに意識を集中する」のではなく、「障害者を偏見や同情の目で見るとはならず、すべてを受け入れることの大切さ」に言及する内容となっている。また、2(9)②「コトコの涙」は、老人ホームにボランティアで通う主人公が、ホームで体験した出来事を通して、異なる個性や立場を尊重することの大切さに気付かされる内容となっており、「自由に動けなくなり、言葉をなくし、記憶までなくして」も、「子どもになったわけではない」など、高齢者の尊厳に関わる記述が中心となっている。このような、「障害者」「高齢者」に関わる人権課題については、「第三次とりまとめ」(実践編)は、学校において、「障害のある子どもとの交流教育をはじめ、教育活動全体を通じて、障害者に対する理解、社会的支援や介護・福祉などの課題に関する理解を深めさせる教育を推進する」、あるいは、「高齢者に対する尊敬や感謝の心を育てるとともに、高齢社会に対する基礎的理解や介護・福祉などの課題に関する理解を深めさせる教育を推進する」と指摘している。実際にも、学校では、人権学習の一環として、障害のある人、あるいは高齢者への差別等に関する理解、交流学習等が活発に行われている<sup>26</sup>。1(9)⑧、2(9)②は、このような人権学習との連携を期待できる、教材となっている。

2(11)②「リスペクトアザース・人権課題への取組」は、「個性を尊重する社会正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努める心情を育む」としている。内容項目は「公正、公平、社会正義」である。アメリカの人種差別の歴史的な背景を踏まえた「他の人のことを尊重する」考え方、日本における他との同調に気を遣う特徴をとりあげ、さらに、「人権課題への取組」として、世界人権宣言等の人権に関わる国際的文書や個別の人権課題に言及している。

以上、社会的な人権侵害事項を主たる題材とする題目で、指標①の前提をふまえた上で、個別具体的な人権侵害の事実（指標①）、差別や偏見等の人権侵害を解決していくための価値観や態度（指標③）の学習から、これらを「尊厳」「寛容」等の人権教育の概念的の理解（指標②）までを含めた構成となっている点で、人権学習として位置付ける可能性のある題目といえることができる。

#### 4.3 指標①をふまえ③④を中心に関連が認められる題材（児童生徒が直接関与する人権侵害事項を主たる題材とするもの）

児童生徒が直接関与する人権侵害事項としては、いじめや児童虐待などの事件をあげることができる。

2(11)⑦「わたしのせいじゃない」は、著名な絵本『わたしのせいじゃない』を用い、「社会をよりよくするために主体的に関わっていこうとする態度を育てる」としている。内容項目は、公正、公平、社会正義である。2(11)⑦では、いじめの問題と関連付けて「このクラスの一員だったら、あなたはどうするだろうか。」という問いで考えさせたあと、世界で極貧の環境下にある子どもや、少年兵の社会を示して、「あなたの周りに『わたしのせいじゃない』とは言えない問題はないか」と問うている。指標①はもとより、指標②③④を含む幅広い内容への応用可能性を示す題材といえる。

また、2(11)⑦の後半に示されている写真は、「児童の最善の利益」（第3条）、「少年兵」（第35条）等、児童の権利に関する条約の各規定を想起させる。先に指摘したように、『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編』の「道徳教育を進めるに当たっての留意事項」において、道徳教育が、「日本国憲法に述べられている『基本的人権』」や『国際連合教育科学文化機関憲章（ユネスコ憲章）』にいう『人間の尊厳』の精神も根本において共通するもの<sup>27</sup>と説明されており、2(11)⑦は、この趣旨を反映するものとなっており、実際にも、自治体により作成された人権教育資料集<sup>28</sup>において、同様の題材を確認することができる。

2(11)⑦のほかにも、同様の題材を用い、「泣いている子の立場に立っていじめの問題について考え、だれに対しても公正に接し、差別や偏見のない社会をつくろうとする心情を養う」とする、2(11)①「私のせいじゃない」を確認できる。『わたしのせいじゃない』は、高知県教育センター（2015）<sup>29</sup>など、自治体による人権教育関係指導資料集でも活用される題材であるが、2(11)⑦は、「わたしのせいじゃない」から教室のいじめ問題へ、さらに社会へと認識や感性を広げていく構成をとっており、「人間関係のゆがみ、ステレオタイプ、偏見、差別を見きわめる技能」「他者の痛みや感情を共感的に受容できるための想像力や感受性」（「第三次とりまとめ」）から設定した指標④にとどまらず、本稿で設定した各指標の特性を含むものとなっている。

3(11)⑤「卒業文集最後の二行」は、「正義と公平さを重んじ、自分の弱さを認めつつも、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない世界の実現を願う心情を育てる」としている。内容項目は、公正、公平、社会正義である。小学校時代、同級生をいじめた体験から、いじめられた当事者の深い悲しみとともに、不公平な態度や同調圧力に流されてしまった主人公の、苦い思いが描かれる。いじめの構造的な理解や、当事者の痛みや悲しみへの共感的態度をもとに、正義と公正、さらには差別や偏見の無い状況を願う心情を育てるねらいが明確に示されており、指標①はもとより、人権に関わる知的理解（指標②）、価値的・態度的側面（指標③）、いじめの残酷さなどが示された題材である。「卒業文集最後の二行」は、他にも1(11)の⑥、3(11)の②④⑦で取り入れている。他にも、児童生徒が身近に体験する人権侵害行為であるいじめ問題を題材とした、1(1)①・2(11)⑥「傍観者でいいのか」があり、指標④にかかわる「人権に関わる事柄を直感的に感受し、共感的に受けとめ内面化するための技能」（「第三次とりまとめ」）と関連をみることができる。

2(11)④「君、想像したことある？」は、「いじめをする人間の醜さに気づき、自分の弱さに打ち勝って、差別や偏見、いじめのない社会の実現に努める道徳的態度を養う」としている。内容項目は、公正、公平、社会正義である。「SNSでよく死ねとか消えろとかブスとかウザいとか言われます。顔が見えないから体は傷つかないけど、匿名な分、言葉のナイフは鋭い」「涙が出ないくらい苦しくて、死にたくなる日もあります」「いじめの子に想像力をもってもらうことでしか止まらない」などの言葉が記されている。知的理解とともに人権感覚の必要性を求める人権教育の前提とした指標①を正面から受けとめた教材となっている。

2(2)⑦「SNSとどうつき合う？」は、「生活をふり返り、節度を守り節制に心がけ、安全で調和のある生活しようとする態度を育てる」としている。内容項目は、節度、節制である。なにげない日常のやりとりの中にも人を傷つけることがあることや、見知らぬ人とのやりとりの危険性を実感できるよう工夫され、個別の人権課題であるインターネットによる人権侵害（前掲「基本計画」）の教材としても活用可能な内容といえる。

子ども自身が被害者となる直接的な人権課題を世界的視野でとりあげた題目が、1(18)⑥「大人たちの都合で無数の子どもの命が」と3(18)①「その子の世界、私の世界」/ 3(18)①「そのこ」である。いずれも内容項目は「国際理

解, 国際貢献」である。「大人たちの都合で無数の子どもの命が」は, ユニセフ親善大使であった黒柳徹子の体験が取り扱われ, 学習のねらいは, 「世界の中の, 悲惨な境遇に置かれている子どもたち」についての報告レポートを課し, 「国際社会における現実の一側面を認識」し, 解決を「模索し続けようとする心情を深める」とされている。また, 「その子の世界, 私の世界」は, 「4枚の写真を見て, 世界の子供たちを取り巻く現実」を考え, 「国際社会の問題を理解し, 世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心情を深める」とされている。子どもの人権侵害に関する各写真は, 前述した2(11)⑦「わたしのせいじゃない」とほぼ同様の趣旨で選択されたものである。『『その子の世界』と『私の世界』の違い』を話し合い, 「国際社会の問題解決」について考え, 「世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする」態度を育てるとし, 参考資料として, 子どもの権利条約を掲載するなど, 人権教育の各指標にわたる内容を含む教材となっている。

以上, 検討した各題目の題材, 教材としての位置づけ等を見ると, いずれも, 知識的側面(指標①)の学習を通して, 直接的, 間接的な体験を再認識し, 価値的・態度的側面(指標③), 技能的側面(指標④)と重ねることで, 人権感覚の醸成を期すものとなっている。人権教育の教材としての側面を十分に含み持つものといえよう。

#### 4.4 各指標との関連性が認められる題材

「道徳科」中学校検定教科書には, 本稿で設定した人権教育の指標④(人権問題を感じ共感する技能の修得に関わる題材)との関連性, とりわけ, 「第三次とりまとめ」や自治体による人権教育関係指導資料集等に掲載された「参加体験型学習」と同様の趣旨の題材が, 見受けられる。

2(3)②『『自分』ってなんだろう』は, 「人それぞれ必ずその人固有のよさがあり, その発見と自己受容・自己理解に努め, 自分らしさを発揮できる生き方を求める」としている。内容項目は, 向上心, 個性の伸長, 自己を見つめるである。人間の価値は, 「他人と比べるものではなくかけがえのない一人の人としての不動のものである」との趣旨の記述をふまえ, 「お互いのよいところを書き合う体験を通して, 自分を見つめることについて考える」活動が設定されている。後半に加えられた学習活動は, 人権感覚の育成につながる。神奈川県教育委員会(2016)<sup>30</sup>には, 「他の人の短所を逆転の発想で長所」にして, 「励ましのメッセージも考えてみましょう」とした学習を設定して「自己肯定感を高め, 「自分らしさ」と向き合い, 自己を認める意識を育てる」授業例が紹介されている。

1(4)④「終わりなき挑戦-成田真由美-」は, 内容項目「希望と勇気, 克己と強い意志」と関連して, 障害のある人が, 困難を乗り越えて挑戦を続けようとする生き方に注目させる。また, 3(21)⑦「カムイモシリとアイヌモシリ」では, 内容項目「感動, 畏敬の念」と関連させて, アイヌの人たちの自然観が描かれる。さらには, 多くの教科書で重ねて取り上げられている題材, 2(14)④3(14)②③⑤⑥⑧「一冊のノート」は, 家族の一員である高齢な祖母の姿を通して, 共感的な理解の重要性を考えさせる題材である。

必ずしも, 指標①をはじめとする各指標を, 網羅するものと認めるまでには至らないが, これらの題材を活用することで, 各教科, 総合的な学習の時間, 特別活動等, 様々な時間を通して取り組まれる人権教育と連携させることで, 障害のある人, アイヌの人々, 高齢者の人々に対する知的側面の理解を深め, 価値的態度的側面や技能的側面の学習とあわせて, 人権感覚を醸成するための教材として活用することが可能となるように思われる。

## 5 総括

本稿では, 人権教育に関する基本的な文書から人権教育の指標を導き出し, 「特別の教科 道徳」の中学校用検定教科書の分析を通して, 各指標の趣旨との対応関係に限定した形ではあるが, 少なくない題目について, 人権教育との関連性を確認することができた。道徳教科書の全題目数からみれば必ずしも多いとはいえないが, それでも, 本稿の考察結果からもわかるように, 暫定的に設定した人権教育の指標に対応する質の高さに鑑みれば, 教科書内容に限って見た場合, また, 題目設定から発展的に配置された題材, 応用的に配置された教材から見ると, 「道徳科」あわせて, 道徳教育の趣旨や目的を損なうことなく, 人権教育と関連した教材として活用可能な題材が相当程度確認できたこと, その根拠についても, 指標等を用いて一定程度論証したことは, 総論的批判の中で, 本研究が独自になすことのできた成果といえよう。

他方で, 本稿と同様の手法を用いて, 「道徳科」の小学校用検定教科書についても, 試みることは, 今後の課題として残っている。また, そのうえで, 国や自治体による人権教育に関する資料等から, 「道徳科」教科書との対応関係, 関連や連携の在り方を, 理論的・実践的に論及し考察することも, あわせて, 今後の課題としたい。

- <sup>1</sup> 文部科学省 人権教育の指導方法等に関する調査研究会議（2008）「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕（指導の在り方編）」。
- <sup>2</sup> 同和教育をはじめとする成果と蓄積について、たとえば、文部省（当時）による『人権教育資料－各課題編1（同和教育）－』2000。ほかを参照されたい。
- <sup>3</sup> 船山謙次（1958）『戦後日本教育論争史－戦後教育思想の展望』東洋館出版社、船山謙次（1960）『続・戦後日本教育論争史』
- <sup>4</sup> 佐貫浩（2015）『道徳性の教育をどう進めるか－道徳の「教科化」－批判』新日本出版社
- <sup>5</sup> 木村和美（2019）「人権の視点から考える道徳教科書－小学校第5学年、第6学年の「親切、思いやり」に着目して－」『広島修道大学論集』59巻2号215～229頁。木村和美（2016）「大学の教職科目「道徳の指導法」の在り方に関する一考察－人権教育・参加体験型学習の活用－」『滋賀短期大学研究紀要』41巻1～14頁。
- <sup>6</sup> 「第三次とりまとめ」第1節学校としての組織的な取組と関係機関等との連携等1学校の教育活動全体を通じた人権教育の推進。
- <sup>7</sup> 前掲「第三次とりまとめ」（実践編）同実践編10頁。
- <sup>8</sup> 梅野正信（2018）「人権教育の趣旨を生かした学習への期待」鳥取市人権情報センター『架橋』38, 3～8頁。
- <sup>9</sup> 文部科学省 [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/jinken/siryu/index.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/jinken/siryu/index.htm)
- <sup>10</sup> 福田弘編訳（2003）『人権・平和教育のための資料集』明石書店
- <sup>11</sup> 前掲「第三次とりまとめ」。正確には「人権教育のための世界計画第1フェーズ（2005－2007）行動計画」（2004）第59回国連人権委員会及び第59回国連総会（我が国は共同提案国）。
- <sup>12</sup> 「第三次とりまとめ」第1章学校教育における人権教育の改善・充実の基本的考え方 1.人権及び人権教育(2)人権教育とは。
- <sup>13</sup> 人権感覚は、「人権の価値やその重要性にかんがみ、人権が擁護され、実現されている状態を感知して、これを望ましいものと感じ、反対に、これが侵害されている状態を感知して、それを許せないとするような、価値志向的な感覚」と定義されている。「第三次とりまとめ」5頁。
- <sup>14</sup> 前掲「第三次とりまとめ」6～7頁。
- <sup>15</sup> 「第三次とりまとめ」では、諸技能の修得に効果的な学習として、「協力的学習」「体験的学習」「参加型学習」が推奨されている。19頁。
- <sup>16</sup> 課題の例示内容は岡山県教育委員会（2017）「第3次岡山県人権教育推進プラン」を参照した。
- <sup>17</sup> 「第三次とりまとめ」（2008）の後、12番目の項目として追加された。「人権教育・啓発に関する基本計画の一部変更について」（閣議決定 2011）
- <sup>18</sup> 法務省・文部科学省（2019）『令和元年版 人権教育・啓発白書』
- <sup>19</sup> 新潟県（2019）「新潟県人権教育・啓発推進基本指針」では、女性、子ども、高齢者、障害者、同和問題、外国人までは「基本計画」「白書」とほぼ同様であるが、「7 感染症患者等」「8 新潟水俣病被害者」「9 北朝鮮による拉致被害者」「10 犯罪被害者やその家族」「11 刑を終えて出所した人等」「12 性的指向・性自認を理由とする偏見や差別」と続いている。
- <sup>20</sup> 梅野正信（2012）「人権教育資料の分析的研究1～「協力的」「参加的」「体験的」な学習を中心とする指導例示の特色と傾向～」『上越教育大学研究紀要』第31巻, 29～40頁。同（2013）「人権教育資料の分析的研究2～人権課題に関わる指導例示の特色と傾向～」『上越教育大学研究紀要』第32巻, 59～73頁。梅野正信（2013）「「言葉」と「コミュニケーション」の技法を高める～運動部活動指導者のコミュニケーション技法～」『2 シナプス』第25号, ジダイ社, 32～35頁。
- <sup>21</sup> 文部科学省（2017）『中学校学習指導要領（平成29年告示）』第1章総則第1の2及び同『解説』28～29頁。
- <sup>22</sup> 梅野正信（2013）「人権教育資料の分析的研究2～人権課題に関わる指導例示の特色と傾向～」『上越教育大学研究紀要』第32巻, 59～73頁。
- <sup>23</sup> 前述のように、新潟県では重点的に取り扱われる課題として、教材化・授業化の取り組みが進められている。新潟県（2015）『はじめての新潟水俣病』、新潟県・新潟市（2018）『現場から学ぶ新潟水俣病～教訓を語り継ぐ～』、新潟県（2018）『新潟水俣病が教えてくれたもの〔中学校編〕～人間の活動と環境のかかわり～』など
- <sup>24</sup> 栃木県教育委員会（2003）『様々な人権問題に関する指導資料集』「田中正造と足尾銅山鉍毒事件」。
- <sup>25</sup> 文部科学省（2015）「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」。
- <sup>26</sup> 梅野正信（2012）「人権教育資料の分析的研究1～「協力的」「参加的」「体験的」な学習を中心とする指導例示の特色と傾向～」『上越教育大学研究紀要』第31巻, 29～40頁。
- <sup>27</sup> 文部科学省（2017）『中学校学習指導要領（平成29年告示）』第1章総則第1の2。『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編』28～29頁。
- <sup>28</sup> たとえば、埼玉県教育委員会（2008）の「人権とは？」は、同様の写真を用いている。『児童生徒の豊かな人権感覚を育むための「自分」「人」彩発見プログラム』195～202頁。
- <sup>29</sup> 高知県教育センター（2015）『人権学習資料集（中学校編）』「知っていながら何もしないという不正義に気付く。身の回りや地球上でさまざまな破壊や迫害が起きていることを理解し、公平で平和な世界の実現に向けて取り組もうとする態度を育てる」旨を設定して『わたしのせいじゃない』を用いた学習活動を掲載している。
- <sup>30</sup> 神奈川県教育委員会（2016）『人権学習ワークシート集Ⅵ－人権教育実践事例・指導の手引き（高校編第15集）－』

# Analysis of textbooks containing moral content from the viewpoint of human rights education

UMENO Masanobu\* · HACHISUGA Youichi\*\*

## ABSTRACT

This study derived human rights education indicators from basic documents on human rights education, and used these to analyze junior high school textbooks for "Morals," limiting the correspondence to the purpose of each indicator. Although it is a form, the relevance of human rights education for a number of subjects could be confirmed. An examination was conducted of content that could be considered as teaching material related to human rights education, without compromising the purpose of moral education. This points out the need for theoretical and practical research on materials, purposes, and utilization methods that can be combined for this purpose.